

【目標：環境教育・環境学習の場や機会の充実、人材育成等の基盤整備を目指す】

●CCかわさき交流コーナーを開設しました●

市では、様々な主体（市民、事業者、行政）と連携し、地球温暖化防止に関する活動等を支援・推進するため、平成22年12月に、川崎市地球温暖化防止活動推進センターを指定・設置し、活動の拠点として、平成23年1月に、高津市民館内に「CCかわさき交流コーナー」を開設しました。

CCかわさき交流コーナーでは、地球温暖化対策に関する相談窓口を設置するとともに、セミナーや学習会、展示などにより普及啓発・情報発信を行っています。また、市民・事業者など様々な主体の交流の場としても利用されています。



●学習教材「くらしとごみ」作成●



市では、川崎市小学校社会科教育研究会の協力を得て、小学校3・4年生を対象とした学習用補助教材である「くらしとごみ」を、昭和52年から毎年発行しています。

作成にあたっては、廃棄物処理事業について学ぶことを通じて、そこで働く人たちの役割を理解するとともに、廃棄物に対する正しい知識を持つことにより、ごみの減量に向けた行動の実践につなげることを目的として編集しています。

平成22年度については、13,700部作成し、市内の小学校124校に配布し、総合学習の時間等で活用されています。

●ゲーム教材の開発と活用●

公害研究所では、楽しくエコライフを学ぶことを目的に、すごろく形式のボード型ゲーム「川崎オリジナル・エコライフゲーム」と、ゲーム教材を効果的に活用するための学習プログラムを作成しており、平成22年度においては、より多くの方を対象に展開するため、ボード型ゲームを基にした、新たなゲーム教材を作成しました。

人々の目に止まり、気軽に参加できるゲームにするため、教材の形状を長さ5m、幅3.6mの大型フロアシートにし、デザインをボード型と同じすごろく形式としました。

内容は、一日の生活のエコライフ度を各マス目で問う形にしており、また、ゲームの紹介やルール、ゲーム終了後の成績診断は設置されたパネルを見れば分かるようにして、指導員がいなくても、誰でも学べる構成にしました。

このフロアシート型ゲームは、スポーツセンターやイベントの場で、エコライフについて楽しみながら学べる教材として活用されています。

